

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	今泉女子専門学校
設置者名	学校法人今泉学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	プロフェッショナル科 ファッションクリエイトコース	夜・通信	4712	320	
	プロフェッショナル科 きものコース	夜・通信	4712	320	
	服飾科 ファッションクリエイトコース	夜・通信	2318	160	
	服飾科 きものコース	夜・通信	2318	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.imajo.net/johokokai.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	今泉女子専門学校
設置者名	学校法人今泉学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.imajo.net/johokokai.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	日本全薬工業会長	R2.6.1～ R6.5.31	経営計画の策定
非常勤	湯浅報恩会会長	R2.6.1～ R6.5.31	経営計画の策定
非常勤	安積医科機器社長	R2.6.1～ R6.5.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	今泉女子専門学校 同窓会長	R2.6.1～ R6.5.31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	今泉女子専門学校
設置者名	学校法人今泉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)の作成については、素地となるカリキュラム・教育課程編成委員会の意見を基に、担当者が案を作成し、同教科担当教員で審議し、職員会議で検討の結果決定を行う。 ・授業計画の公表については、科目の実施時期に伴い、1・2・3学期で授業評価を行うため、3学期時点で次年度の授業計画を作成し、新1年生は3月の入学オリエンテーションに於いて、在校生は4月の1学期始業時に配布及びHPにおいて公表している。 		
授業計画書の公表方法	http://www.imajo.net/johokokai.html	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価</p> <p>成績評価は各教科共、学期毎に行う。 評価の方法は、以下の通りとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験 ・教授細目評価(製作物・演習成果・実習成果) ・他総合評価(提出物・平常点及び授業中の理解度・出欠) <p>実技科目については年間の教授細目による作品の評価、講義科目については筆記試験にて評価するが、平常の授業態度、出席状況等を考慮の上、総合評価する。評点は点数法で行うが、成績表は5段階にて評価記入する。</p>		
標語	点数	評価
秀	100 ～ 90	特にすぐれている
優	89 ～ 80	すぐれている
良	79 ～ 60	ふつう
可	59 ～ 40	努力を要する
不	39 ～	特に努力を要する(不合格)

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPA の計算方法

$\{(秀の科目数 \times 4) + (優の科目数 \times 3) + (良の科目数 \times 2) + (可の科目数 \times 1) + (不の科目数 \times 0)\} \div 合計の科目数$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<http://www.imajo.net/johokokai.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定

- ・プロフェッショナル科 必修科目 3400 単位時間以上 必修選択科目 640 単位時間以上
- ・服飾科 必修科目 1700 単位時間以上 必修選択科目 320 単位時間以上

上記、所定の課程を修了した者。

但し、認定には卒業試験（理論・実技）の成績に、それまでの成績、出席日数、素行が考慮される。卒業試験の成績が、優または良であることが望ましい。

上記の条件を満たした学生を、全カリキュラムを履修したと認め、卒業資格の認定を行う。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<http://www.imajo.net/johokokai.html>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	今泉女子専門学校
設置者名	学校法人今泉学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.imajo.net/johokokai.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.imajo.net/johokokai.html
財産目録	http://www.imajo.net/johokokai.html
事業報告書	http://www.imajo.net/johokokai.html
監事による監査報告（書）	http://www.imajo.net/johokokai.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
服飾・家政		専門課程	プロフェッショナル科 ファッションクリエイトコース	—	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
4年	昼間	4040 単位時間/単位	1330 単位時間 /単位	266 単位時間 /単位	3572 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			5168 単位時間/単位			0 単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人の内数		10 人	0 人	7 人の内数	4 人の内数	11 人の 内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業計画（シラバス）の作成については、素地となるカリキュラム・教育課程編成委員会の意見を基に、担当者が案を作成し、同教科担当教員で審議し、職員会議で検討の結果決定を行う。 ・授業計画の公表については、科目の実施時期に伴い、1・2・3 学期で授業評価を行うため、3 学期時点で次年度の授業計画を作成し、新1 年生は3 月の入学オリエンテーションに於いて、在校生は4 月の1 学期始業時に配布している。
成績評価の基準・方法
（概要） 筆記試験 教授細目評価 他総合評価
卒業・進級の認定基準
（概要） （卒業）所定の課程を修了した者 （進級）必要な単位時間を履修した者

学修支援等 (概要) ■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 学友会（地域清掃活動・慰問活動・災害地への募金・献血等） 本人及び保護者との面談・家庭訪問

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100.0%)	0人 (0.0%)	2人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) アパレル産業・デパート・ブライダル関係・教員・リフォーム店等			
(就職指導内容) 就職ガイダンス・個別相談会・面接指導等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 技能検定(和洋)・技術認定試験(和洋)・ファッション販売能力検定・ ファッションビジネス能力検定・ファッション色彩能力検定・ パターンメイキング技術検定等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	1人	12.5%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情により就学困難な為		
(中退防止・中退者支援のための取組) ①本人及び保護者との面談相談会 ②スクールカウンセラーによるカウンセリング ③経済的支援としての奨学金		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	プロフェッショナル科 きものコース	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	4040 単位時間／単位	1330 単位時間 ／単位	266 単位時間 ／単位	3572 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			5168 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		6 人	0 人	7 人の内数	4 人の内数	11 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）の作成については、素地となるカリキュラム・教育課程編成委員会の意見を基に、担当者が案を作成し、同教科担当教員で審議し、職員会議で検討の結果決定を行う。 ・授業計画の公表については、科目の実施時期に伴い、1・2・3 学期で授業評価を行うため、3 学期時点で次年度の授業計画を作成し、新1 年生は3 月の入学オリエンテーションに於いて、在校生は4 月の1 学期始業時に配布している。 	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>筆記試験 教授細目評価 他総合評価</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>（卒業）所定の課程を修了した者 （進級）必要な単位時間を履修した者</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 <p>学友会（地域清掃活動・慰問活動・災害地への募金・献血等） 本人及び保護者との面談・家庭訪問</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0 %)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>アパレル産業・デパート・ブライダル関係・教員・リフォーム店等</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>就職ガイダンス・個別相談会・面接指導等</p>			

(主な学修成果(資格・検定等)) 技能検定(和洋)・技術認定試験(和洋)・ファッション販売能力検定・ ファッションビジネス能力検定・ファッション色彩能力検定・ パターンメイキング技術検定等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
①本人及び保護者との面談相談会 ②スクールカウンセラーによるカウンセリング ③経済的支援としての奨学金		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	服飾科 ファッションクリエイトコース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2020 単位時間/単位	646 単位 時間/単位	152 単位時間 /単位	1786 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2584 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30 人の内数	10 人	0 人	7 人の内数	4 人の内数	11 人の 内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）の作成については、素地となるカリキュラム・教育課程編成委員会の意見を基に、担当者が案を作成し、同教科担当教員で審議し、職員会議で検討の結果決定を行う。 ・授業計画の公表については、科目の実施時期に伴い、1・2・3 学期で授業評価を行うため、3 学期時点で次年度の授業計画を作成し、新1 年生は3 月の入学オリエンテーションに於いて、在校生は4 月の1 学期始業時に配布している。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>筆記試験 教授細目評価 他総合評価</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>（卒業）所定の課程を修了した者 （進級）必要な単位時間を履修した者</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 <p>学友会（地域清掃活動・慰問活動・災害地への募金・献血等） 本人及び保護者との面談・家庭訪問</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100.0%)	1 人 (25.0 %)	1 人 (25.0%)	2 人 (50.0 %)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>アパレル産業・デパート・ブライダル関係・教員・リフォーム店等</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>就職ガイダンス・個別相談会・面接指導等</p>			

(主な学修成果(資格・検定等)) 技能検定(和洋)・技術認定試験(和洋)・ファッション販売能力検定・ ファッションビジネス能力検定・ファッション色彩能力検定・ パターンメイキング技術検定等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
①本人及び保護者との面談相談会 ②スクールカウンセラーによるカウンセリング ③経済的支援としての奨学金		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	服飾科 きものコース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2020 単位時間/単位	646 単位 時間/単位	152 単位時間 /単位	1786 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2584 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30 人の内数	4 人	0 人	7 人の内数	4 人の内数	11 人の 内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）の作成については、素地となるカリキュラム・教育課程編成委員会の意見を基に、担当者が案を作成し、同教科担当教員で審議し、職員会議で検討の結果決定を行う。 ・授業計画の公表については、科目の実施時期に伴い、1・2・3 学期で授業評価を行うため、3 学期時点で次年度の授業計画を作成し、新1 年生は3 月の入学オリエンテーションに於いて、在校生は4 月の1 学期始業時に配布している。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>筆記試験 教授細目評価 他総合評価</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>（卒業）所定の課程を修了した者 （進級）必要な単位時間を履修した者</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 <p>学友会（地域清掃活動・慰問活動・災害地への募金・献血等） 本人及び保護者との面談・家庭訪問</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 (100.0%)	1 人 (100.0%)	0 人 (0.0 %)	0 人 (0.0 %)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>アパレル産業・デパート・ブライダル関係・教員・リフォーム店等</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>就職ガイダンス・個別相談会・面接指導等</p>			

(主な学修成果(資格・検定等)) 技能検定(和洋)・技術認定試験(和洋)・ファッション販売能力検定・ ファッションビジネス能力検定・ファッション色彩能力検定・ パターンメイキング技術検定等
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
①本人及び保護者との面談相談会		
②スクールカウンセラーによるカウンセリング		
③経済的支援としての奨学金		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
プロフェッショナル科	200,000円	481,200円	160,000円	施設充実費・教育充実費
服飾科	200,000円	481,200円	160,000円	施設充実費・教育充実費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.imajo.net/johokokai.html
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 専修学校における学校評価ガイドラインに基づき、学校関係者として卒業生・保護者等から委員を参画した学校関係者評価委員会を設置して評価を実施し、評価結果を教育活動その他の学校運営の改善等に生かす取組を行う。 主な評価項目は以下の通りとする。 (1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援

(6) 教育環境 (7) 学生の受入れ募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流 学校関係者評価委員会からの評価結果に基づいて、教育活動及び学校運営の組織的・継続的な改善を図る。また、学校に対する支援や整備等の措置を講じ、実行することにより、教育の質を保証するとともにその向上を図るために活用する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
福田屋 代表取締役	2021年10月1日～ 2025年9月30日 (4年)	業界関係者
合同会社 WATASI JAPAN 代表	2021年10月1日～ 2025年9月30日 (4年)	業界関係者
福島産業株式会社 代表取締役	2021年10月1日～ 2025年9月30日 (4年)	業界関係者
今泉女子専門学校 同窓会会長	2021年10月1日～ 2025年9月30日 (4年)	卒業生
今泉女子専門学校 同窓会副会長	2021年10月1日～ 2025年9月30日 (4年)	卒業生
今泉女子専門学校 保護者会会長	2021年5月1日～ 2025年4月30日 (4年)	保護者
郡山市大町町内会 代表	2021年10月1日～ 2025年9月30日 (4年)	地域住民
榑増子会計センター代表 取締役社長	2021年10月1日～ 2025年9月30日 (4年)	マネジメント財務
郡山商工会議所 副会頭	2021年10月1日～ 2025年9月30日 (4年)	学校等評価委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.imajo.net/johokokai.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.imajo.net/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	今泉女子専門学校
設置者名	学校法人今泉学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		-	-	-
内 訳	第Ⅰ区分	-	-	
	第Ⅱ区分	-	0人	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				-人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）
--	---------	---

	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期		後半期	

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。